


第 25 回京都府老人保健施設大会

主催 一般社団法人京都府介護老人保健施設協会

「時代は『老健』!! ～生きる力を活かすケア～」を大会テーマとして変化する介護保険制度の中で老健本来の機能と役割を重視した施設サービスを提供するために、さまざまな角度より取り組んだ研究内容の発表大会です。

皆様には、公私ともにご多用とは存じますが、ふるってご参加いただきますようお願い申し上げます。

- | | |
|--|--|
| <p>1. 日 時
平成 30 年 12 月 14 日 (金)
10:00 ~ 16:00 (9:30 受付)</p> <p>2. 会 場
京都テルサ テルサホール
京都市南区東九条下殿田町 70 番地
TEL 075-692-3400
http://www.kyoto-terrsa.or.jp</p> | <p>3. 参加費 無料</p> <p>4. お申込み方法 (下記のいずれかで申込み)
①google フォーム・②E-mail・③FAX
11月16日(金)までにお申込みください。
google フォーム
QR コード</p>  <p>E-mail kyoroken@world.ocn.ne.jp
FAX 075-813-1546</p> |
|--|--|

第 25 回京都府老人保健施設大会 プログラム

- 【研究発表】 I 部 10:30 ~ 11:30
II 部 14:45 ~ 15:45
看護師、介護職員、セラピスト、支援相談員、施設ケアマネジャー、管理栄養士による研究発表
- 【動画コンテスト】 11:30 ~ 12:00
- 【特別講演】 13:00 ~ 14:30
講師：青山 幸広 氏
(ケアプロデュース RX 組 代表取締役)

青山 幸広 氏 略歴
2004 年『ケアプロデュース RX 組』設立
2008 年 NHK『ためしてガッテン』に出演
2009 年 京都で『楽ワザ介護塾紫野庵』を開塾
2009 年 NHK E テレ
楽々ワンポイント介護の講師となり出演
< 著書 > 力愛不二(りきあいふに)・ひとり浴改革完全マニュアル・おむつに頼らない排泄介護術・青山式楽ワザ介護入門・青山流がんばらない介護術・青山式楽ラクミラクル介護術

FAX No. 075-813-1546

第 25 回京都府老人保健施設大会 参加申込書(ご招待の学校参加者用)

(フリガナ) 参加者氏名	弁当の有無	所属名または学校名(学部名)
()	有・無	
()	有・無	
()	有・無	
()	有・無	
()	有・無	

※終日参加される方はお弁当が付きます。お弁当の必要な方は「有」に○印を付けてください。

※ご招待の学校参加者専用申込書です。ご招待の学校参加者以外は後日ご案内する申込書をご使用ください。

お申込み期限：**11月16日(金)**

お申込み方法：google フォーム、E-mail または FAX でお申込みください

お申込み先：一般社団法人京都府介護老人保健施設協会 事務局

TEL 075-813-1545 FAX 075-813-1546 E-mail kyoroken@world.ocn.ne.jp

第 25 回京都府老人保健施設大会 開催要項

1. 大会内容 変化する介護保険制度の中で老健本来の機能と役割を重視した施設サービスを提供するために、さまざまな角度より取り組んだ研究内容の発表大会です。
2. 大会テーマ 時代は「老健」!! ～生きる力を活かすケア～
3. 日 時 平成 30 年 12 月 14 日 (金) 10:00 ～ 16:00
4. 会 場 京都テルサ テルサホール
京都市南区東九条下殿田町 70 番地 TEL 075-692-3400
<http://www.kyoto-terrsa.or.jp>
5. 主 催 一般社団法人京都府介護老人保健施設協会
6. 事務局 〒602-8143 京都市上京区猪熊通丸太町下る中之町 519
7. 大会スケジュール

9:30～	受付開始	13:00～	特別講演
10:30～	研究発表 I (6 演題)	14:30～	休憩 (15 分)
11:30～	動画コンテスト	14:45～	研究発表 II (6 演題)
12:00～	休憩 (60 分)	15:45～	閉会挨拶
8. 特別講演 講師 青山 幸広 氏 (ケアプロデュース RX 組 代表取締役)
テーマ 「生きる力を活かすケア～KAM (家事・遊び・学び)～」
9. 研究発表 各職種より合計 12 演題を発表
 1. 在宅復帰に向けての取り組み～利用者と家族の心に寄り添い、笑顔を～
 2. 在宅復帰を支えるために私たちが取り組んだケアについて
 3. 最期まで自宅で過ごしたい利用者・家族の思いを可能にする為に
～看取り時期、利用者や家族が施設利用で求める事は～
 4. やっぱり家が好き
 5. 脳梗塞再発後、自宅内動作が改善した一症例
 6. 施設ケアマネジャーとして「食べる事」を支援する～胃瘻注入から経口摂取への取り組み～
 7. あれ?いつもと違う? ～異常部位シートの運用～
 8. 機能訓練室開放による地域貢献の実践 ～楽しく介護予防～
 9. 施設風土の再確認 ～ご利用者の暮らし方を尊重すること～
 10. 経口維持加算算定の現状について
 11. 災害時の対応 ～緊急時の受け入れ～
 12. 備蓄食糧について ～起こりうる災害に備えて～
10. 参加者 一般府民、福祉系学部 (学科) を持つ大学・専門学校・高校の生徒・職員、介護系関係団体職員、老健職員
11. 参加費 3,000 円/一人につき、弁当付き (ご招待の学校参加者は無料)
12. 参加人数 約 500 名を予定
13. 後援 京都府、京都市、福知山市、舞鶴市、綾部市、宇治市、宮津市、亀岡市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、京丹後市、南丹市、木津川市、久御山町、京都地域包括ケア推進機構、社会福祉法人京都府社会福祉協議会、社会福祉法人京都市社会福祉協議会、一般社団法人京都府医師会、京都府保険医協会、一般社団法人京都府病院協会、一般社団法人京都私立病院協会、京都府慢性期医療協会、一般社団法人京都精神科病院協会、公益社団法人京都府看護協会、公益財団法人京都 S K Y センター、一般社団法人京都府訪問看護ステーション協議会、一般社団法人京都府老人福祉施設協議会、一般社団法人京都市老人福祉施設協議会、一般社団法人京都府理学療法士会、一般社団法人京都府作業療法士会、一般社団法人京都府言語聴覚士会、一般社団法人京都社会福祉士会、公益社団法人京都府介護支援専門員会、公益社団法人京都府栄養士会、一般社団法人京都府介護福祉士会、公益社団法人認知症の人と家族の会 京都府支部、公益社団法人全国老人保健施設協会、京都新聞